

ハンノキ

四季の観察ポイント

春

夏

秋

冬

種子を食べる
カワラヒワ

花は早春の
暖かい日に
あっという間に
開花する

花に次いで
左右非対称の
葉が展開する

幼虫が葉を食べる
ミドリシジミ

葉を食べる
ハンノキハムシ

まつぼっくり
のような果穂

カバノキ科
ハンノキ属
樹高 15 ~ 20m

ヒラタケ(→)
ナメコ等の
栽培に適する
とされる

ハンノキは他の木が入れない湿地のよう
な地下水位の高い場所で優占的に生育でき、
別名ヤチハンノキとも呼ばれます。これは
水分が過剰で土壌中の空気が少ない場所
でも樹皮の皮目から地下の根に空気を送る機
構があるためです。また、根には空气中の
窒素を固定できる根粒菌が共生しており、
萌芽更新も旺盛なパイオニア種です。
繁殖力・成長力が高く、条件が良ければ
50年で直径50cm以上に成長することも
ありますが、他の木と比べて寿命は短く、
太く短い人生(木生)です。

樹皮は紫褐色で
不規則に浅く裂けて
はがれる

葉の入った側芽は少しべたつく

↑
雌花序の冬芽

雄花序の冬芽→

リン子の絵日記

ハンノキ

あの木何か
がら下
がってる

ハンノキは雄花序に雌花序、
実と、冬でも色々と下げて
いるから見分けやすいね。

あれ？ハンノキの根元が
水につかっちゃってるけど
大丈夫なのかな？

ハンノキは水分が
多いところでは
多くの不定根を
出したたり…

小さな
まつぼっくり
みたい！

皮目から根に
空気を送ったり…

盛んに萌芽
したり！

根粒菌

あれは果穂。
中に入っている種子は鳥達
にとって、餌の少ない冬の
貴重な栄養なんだ。

小さな種子を風で飛ばして
開けた場所で早く成長する
パイオニア種なんだよ。

パイオニア開拓者
かっこいい！

菌(根粒菌)と
共生して空気中の窒素
を取り込んだりして、他の
木が生きられない湿地でも
成長できるんだ。

ハンノキとくわいせいながら

材は同じハンノキ属であるケヤマハンノ
キと混じって「ハンノキ材」として取り扱
われることが多く、現在の北海道ではほと
んどがパルプや燃料用とされています。

しかし近年、他の広葉樹より短時間で成
長し、材が鮮やかなピンク色で柔らかく軽
いハンノキの特性を生かして、子供やお年
寄りでも扱いやすい器等も作られています。
また、樹皮や果穂からとれるタンニン
は黒や茶褐色の染料として使われます。

アイヌ民族とハンノキ

ハンノキはアイヌ語で「ニタツ・ケネ(湿
地のハンノキ)」や「サル・ケネ(湿原のハ
ンノキ)」と呼ばれます。「ケネ」は「血に
なる」という意味で、樹皮を傷つけると赤
い液体がにじみ出てきます。枝などを煎じ
た液を補血剤として用いました。



ケヤマハンノキ
の葉と樹皮は
ハンノキと全く
異なる